

(社)日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック教員研修会
(社)日本社会福祉教育学校連盟関東甲信越ブロック教員研修会
日本社会福祉教育学会 第2回 春季研究集会のご案内

テーマ：社会福祉教育研究の多様性と共通基盤をめぐって

日時：2012年3月5日(月) 10:30~16:00 [受付10:00より]

会場：大妻女子大学千代田キャンパス(大学A棟6階 650講義室)

参加費：会員・一般1,000円(大学院生無料：但し学生証を持参すること)

主催：日本社会福祉教育学会

(社)日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック

(社)日本社会福祉教育学校連盟関東甲信越ブロック

この度の2011年役員改選により、新たに組織された第3期理事会では、学会設立の意義を継承しつつ、今後の研究の新機軸を模索するに相応しい内容の研究集会を企画いたしました。

第1部の基調講演では、今年度末に退職される米本秀仁先生(学会設立時の呼びかけ人・初代事務局長、前副会長)より、福祉系学会における教育研究を回顧しつつ、今後の専門職養成教育の課題について教育研究の観点からお話いただきます。また、第2部のシンポジウムでは、社会福祉教育研究の多様性を俯瞰しつつ、その中核を焦点化することにより、社会福祉教育研究のフィールド(内包と外延)に関する共通理解の確立に向けた議論を深めたいと考えております。

社会福祉教育研究は、一方で専門職養成教育の理想と現実との狭間で起こる多様な要請に応えることが喫緊の課題であることは明白です。しかし、他方では教育の質保証やアカウンタビリティに資するべく、専門職養成教育のミニマム・スタンダードについての明確化、さらには共有化に向けた研究成果の蓄積が求められます。そこで、今回のシンポジウムでは、(社)日本社会福祉教育学校連盟社会福祉専門教育委員会作成の「コア・カリキュラム」を議論の軸として、多様な立場から意見を交換しつつ、専門職養成教育の標準化を志向する研究の端緒を開くことを目的とします。

10:30~10:35 開会の挨拶

10:35~10:40 趣旨説明

10:40~12:00 第1部基調講演「社会福祉教育研究の回顧と展望

- 福祉系学会における教育研究と専門職養成教育の課題 -

講演者：米本秀仁(北星学園大学)

コメンテーター：川廷宗之(大妻女子大学)

12:00~13:00 昼食

13:00~15:45 第2部シンポジウム「社会福祉教育研究の多様性と共通基盤をめぐって」

コーディネーター：志水 幸(北海道医療大学)

シンポジスト：「専門職養成教育の理想と現実」宮嶋 淳(中部学院大学)

「学部教育の到達水準とコア・カリキュラム」杉山克己(青森県立保健大学)

「専門職養成教育とコア・カリキュラム」白川 充(仙台白百合女子大学)

コメンテーター：米本秀仁(北星学園大学)

15:45~15:50 第8回大会のご案内

15:50~15:55 事務連絡

15:55~16:00 閉会の挨拶

参加希望者は、資料準備の都合上、できるだけ事前に日本社会福祉教育学会事務局までお申し出(所属・氏名)下さい。

E-mail:jsswe.bu@gmail.com